

教育委員会だより

令和6年4月24日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめざす子ども像
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

2年次の“躍進” ～R6教育行政の重点施策～

本年度は、第3次多治見市教育基本計画（R5～9）の2年次となります。新規事業も含め、確実に実施することで2年次の“躍進”をめざしていきます。

本年度の重点施策の主なものを紹介します（下線部は、新規のもの）。

1 健全な生活習慣を基盤として運動習慣・学習習慣の向上をめざす取組の充実

- (1) 「たじっ子チャレンジ」（3つの習慣向上をめざす子供・家庭・学校の取組）
- (2) 1人1台端末の有効活用、小学校教師用デジタル指導書の全教科導入
- (3) 体育学習等での ACP 実施、体力テストアプリ導入による主体的な取組の促進
- (4) 英語教育コーディネーターの配置による小・中学校英語教育の底上げ
- (5) 学校図書館司書の増員（4人→6人）

2 不登校減少をめざした学びの多様化への対応と子供の居場所づくりの充実

- (1) 校内教育支援センター整備とトライサポーターの配置（小中各1校）
- (2) 学習のつまづきを軽減・解消するための教育支援員の配置（小4校）
- (3) さわらび学級設置規則の改正（学校復帰・社会的自立に向けた居場所機能）
- (4) キキョウスタッフ・ほほえみ相談員・キキョウフレンドの配置

3 笠原小中学校の開校準備と市小中一貫教育基本方針に基づく取組の推進

- (1) 旧小学校校舎の解体と新校舎建設工事の本格化
- (2) ソフト面の前倒し実施（共通日課の試行、教員乗り入れによる教科担任制等）
- (3) 中学校区懇談会や教育長訪問の相互参観

4 教職員の働き方改革推進とスクールロイヤー配置による職場環境改善の支援

- (1) 「多治見市教職員の働き方改革 2024」の実施（働きがいの重視）
- (2) 法的な判断や助言を必要とする事案への相談体制の整備

5 学校・地域の実状やニーズに応じた特色ある教育活動の推進

- (1) 学校の教育目標具現に向けた学校運営方針の明確化・焦点化
- (2) 学校運営協議会の設置促進や地域連携の強化
- (3) 教育充実推進事業（30万円予算）や講師謝礼（500円図書カード）の活用

6 給食費一部無償化の方法と持続可能な費用負担のあり方の明確化

- (1) 無償化の対象や時期、財源確保の検討
- (2) 原材料費高騰に伴う給食費の保護者負担の検討

58年間、ありがとう！～笠原小学校校舎お別れ会～

4月6日（土）には、「ありがとう笠原小学校 校舎お別れの会」を行いました。「解体前に、ぜひ学校の様子を目に焼き付けておきたい！」という強いご要望により実現の運びとなりました。老若男女を問わずたくさんの方が、仮設校舎への引越しを終えて閑散とした笠原小学校を訪れました。卒業後数年と思われる方から年配の方まで、校舎内のあちこちで「懐かしい！」という言葉が響きました。

物品販売や給食食器の無料配付も行いました。絵画にフラスコ、机・椅子まで飛ぶように？買い求められていきました。それぞれのご家庭で小学生時代の思い出とともに大切にされていくことでしょう。孔雀の“クーちゃん”の愛らしいイラストがプリントされた食器を手に「あっ、これ私たちが小学生の頃に描いたんです！」と声を上げた若者の姿も大変印象的でした。

58年間の長きに渡り、笠原地域の人々に愛されてきた小学校校舎。今後、旧校舎解体・新校舎建設へと工事は進んでいきますが、母校への思いが色褪せることはないでしょう。



文化財保護と文化継承 ～多度神社保存修理工事～

4月14日（日）、文化財保護センターが、市有形文化財指定の多度神社本殿保存修理工事見学会を行いました。写真は、職人さんが檜皮葺（ひわだぶき）の屋根を葺き替える様子です。口に含んだ何十本もの竹釘の向きを舌先の感覚で整え、特別な鋤を使って1本1本テンポよく打ち付けていきます。その様子や美しく並んでいく檜皮の重なりは、見事なものでした。名古屋工業大学 麓（ふもと）先生の解説や工事請負業者 友井社寺（丹波市）の方のお話も、興味深く拝聴できました。

工事の事前調査から「状態が非常によく、地域の人々が代々大切に手入れしてきたことが分かった。」というお話がありました。このような文化財の保護や職人さんの技も含めた文化継承の大切さを改めて強く感じる時間になりました。

近くに住んでいる私ですが、恥ずかしながら初めて境内に足を踏み入れました。ちなみに私も竹釘打ちの体験をさせていただきました。1本なら時間をかけて何とかかなりましたが、3本も口に含んでみるともう頭の中はパニック状態。職人の技は、本当に素晴らしい！美しい！

